希望、勇気、自信を持って
21世紀の立役者20歳の旅立ち

猛暑のなか八月十五日、農村環境改善センターにおいて成人式が行われました。

今年の該当者は百五十名で当日の出席者は百五名。ひさしぶりに会った友達との懐かしそうに会話を交わす風景が会場のあちこちで見うけられました。

式典では浅見村長や来賓の方々から、激励やお祝いの言葉がよせられ、21世紀の立役者たちも気持ちを新たにしました。

それに応え、新成人者を代表し三名の所感発表がありました。その後、中学校時代の担任の先生の話では、立派に成長した教え子の姿を讃えるとともに、これからの社会人としての成長を気づかっていました。

先生と生徒、生徒同志の絆の大切さと強さをあらためて認識した成人式でした。

二本木
仲村圭子

常に夢を持ちつづけたい

現在私は子どもの頃からの夢を実現すべく日夜努力しています。私の夢は、小学校の先生になることです。

今年の6月には小学校へ教育実習に行ってきました。ここではじめて現実に触れることができたわけですが、実習中は私には学校の先生など絶対無理だと思ってしまいました。しかし、実習後その反省をする段階で、確かにいろんなことを学んだ自分に気がつきました。学校というのは、毎日成長している子どもたちとふれあい、先生自身も成長していく場所なんだと思いました。

自分は子どもが好きなんだということに改めて気づかされた実習でもありました。また、現実から夢に引き戻されただけかもしれませんが、こんな職場で自分も成長できればと、そう思うようになりました。

中学校の頃の私より少しは大人になったなあと思うのは、「なりたい」と思っているだけではなれないことがわかったことでしょうか。

夢は現実と出会いどんどん変わっていくものと思いますが、常に夢をもちつづけ、その夢に向かって成長してゆけるような大人になりたいと思います。

川根谷内
柄澤知江子

決まりきった生き方に捕らわれない生き方

私は高校卒業後、東京の大学に合格して今は都内で一人暮しをしています。

私が東京で感じることは、月並みですが無限の可能性です。この様に感じるのは「ハタチ」という若さのせいかもしれませんが、本人のやる気次第で私たちの目の前には多くの選択肢が待ち受けているという予感を持たせてくれるのです。

実際東京ではあらゆる人たちが多種多様の価値観をもって生きており、そのパワーには圧倒されるばかりです。

例えば、私のアルバイト先には台湾と韓国から来ている留学生の友人がいます。彼女たちは短い在日中に学べることを全て学び取ろうと多くの人たちと積極的に触れ合い、自分たちの文化を生かしながら、どの様に日本人と同化するか、妥協することなく日々勉強しています。

また、沖縄から来ている大学の友人は紅葉の美しさに非常に感激していました。私には当たり前に思っていた四季の移り変わりも、見る人によってこうも感じ方がちがうものかということを実感し驚きました。

こうして色々な文化圏に住む人たちと触れ合うことを通して豊かな経験を積み重ねていきたいと思っています。

一つの決まりきった考え方にかたくなに捕らわれることなく、柔軟な弾力性のある物事のとらえ方ができる人間に成長していきたい。そう希望しています。

横越下
渡辺　淳

責任と自覚を持って

二十歳といえば、タバコやお酒が認められ堂々と吸ったり飲んだりできる年齢でもあります。しかし、成人を迎えるということは単にそういうことだけではなく、もっと重要な意味をもつと思います。

例えば、何かをする時はしっかりとした考えをもって行動しなければなりませんし、その行動に対する責任というものもついてまわります。私たちの背中には「責任」という重い二文字があることを忘れてはいけないと思います。

また、将来を真剣に考える時でもあると思います。友達の中には、ひと足先に社会に出て働いている人や私のように学生とさまざまですが、それぞれ将来に対する生き方を考えているのではないかと思います。私も将来に対する考えをはっきりさせたところです。それは、教師になることです。

私たちの学年は第二次ベビーブームのせいもあって受験は大変でしたし、ここにきて不景気による就職難とつらいことばかりです。これからいろいろな問題にぶつかると思いますが、自分の力で解決していけるように自覚をもって行動していこうと思います。そして、今日この日を人生の新たな出発点として頑張っていこうと思います。

小千谷中学校
田中　力先生
（当時3年1組）

毎日つけていた生活ノートのことを思い出していた。

大浦小学校
東　五月先生
（当時3年2組）

何度か引越しを繰り返したが、写真立てには3年2組の集合写真が入っている。

新津第二中学校
結城文子先生
（当時3年3組）

中学校時代の友達は何にも増して大切。横越で生まれたこと、出会いを大切に成長して欲しい。

ひさしぶりの再会に会話もはずむ

横越中学校
五十嵐　淳先生
（当時3年4組）

当時は転任したてだったが、今では横中の最古参。みんなも横越のために役立って欲しい。

20歳になったら

国民年金に全員加入

国民年金は日本に住む20歳以上60歳未満のだれもが加入しなければならない社会保険制度です。

平成3年4月からは20歳以上の学生の皆さんも国民年金に加入が義務づけられました。

これは、在学中の事故や病気など万一に備えるためや、20歳から加入することにより将来満額の老齢基礎年金を受けるために義務づけられたものです。

学生の皆さんには、経済的な負担を考慮して独自の保険料免除基準も定められていますので必ず加入するようにしてください。

甘い誘惑　もうけ話
―契約は慎重に―

20歳になると親の同意なしで契約することができます。

あれが欲しい、これが欲しい。あれがしたい、これがしたいとずいぶん欲張りなのが若者の特権ですが、そのぶん悪質業者に狙われやすいのです。

「渡る世間に鬼は無し」と言いますが「人をみたら泥棒と思え」という格言もお忘れなく。

被害にあわないための四箇条

①「興味ありません」と初めに言う。

②友人や家族とよく相談して決める。

③おかしいと思ったら消費生活センターや役場の窓口に問い合わせる。

④口頭でも契約は成立します、申込みはくれぐれも慎重に。

選挙

住みよい国やまちづくりは
あなたの価値ある1票から